

# 「起業って選択は、あり？なし？」

## 【福岡の女性たちの起業意識に関する実態調査アンケート】

---

---

女性の「起業（創業）支援」の波が広がりつつある福岡。

女性たちにとって「起業」という選択肢はあり？それともハードルが高い？

女性がやりたいことを実現できるには、何が必要か？

“起業”に対する、女性たちのホンネや希望を探りました。



2015年6月

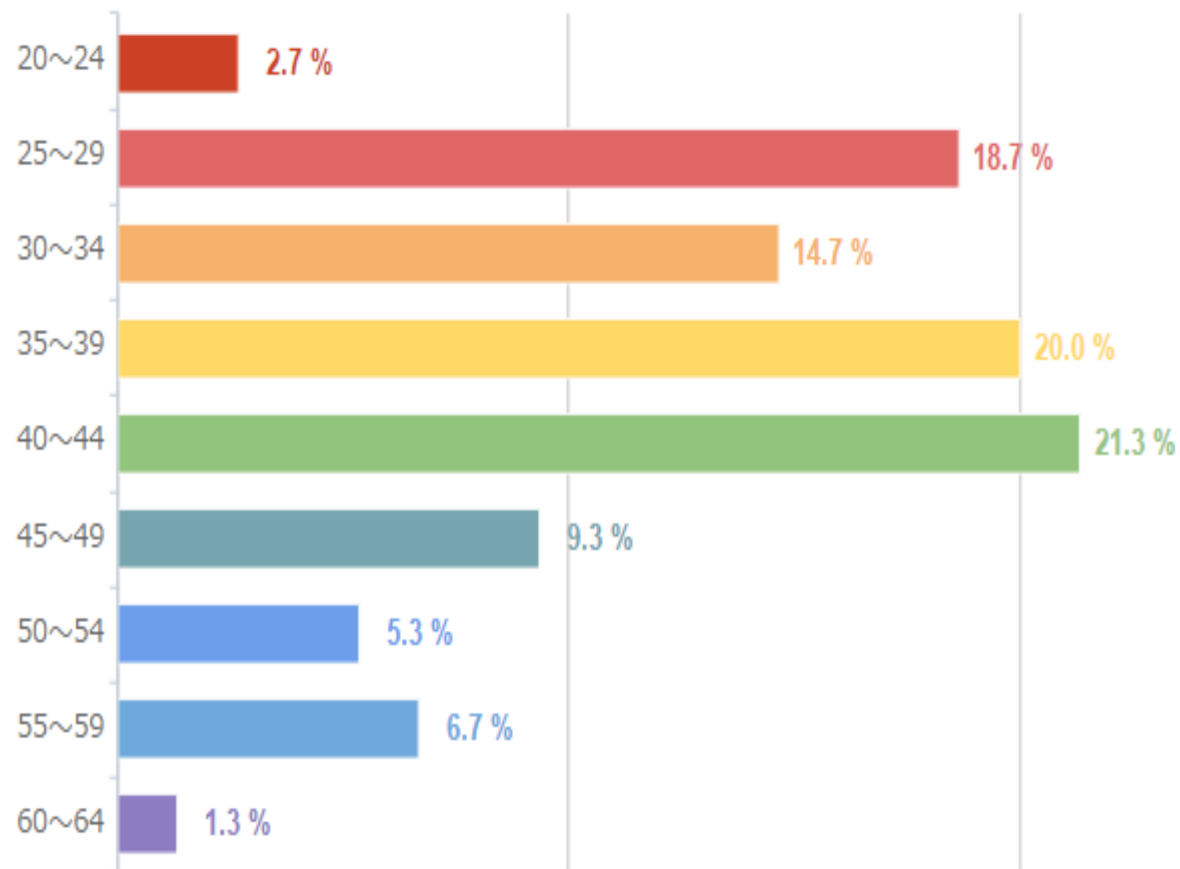
株式会社アヴァンティ

avanti働く女性研究所事務局

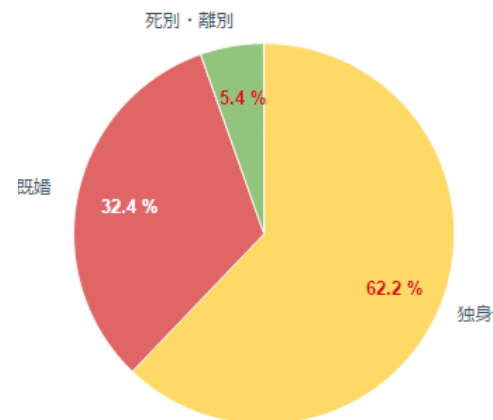
## 回答者のプロフィール

- 調査方法／avanti働く女性研究所登録メンバーに対するインターネット調査
- 調査期間／平成27年4月15日～4月24日 ●N=148

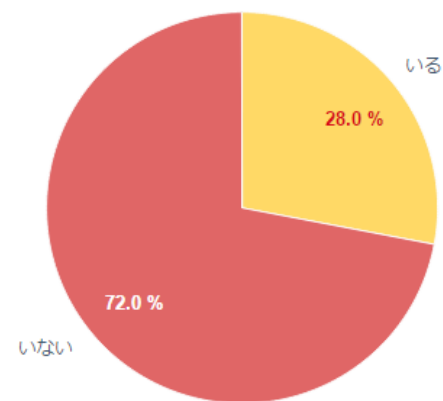
### ●年齢



### ●未既婚

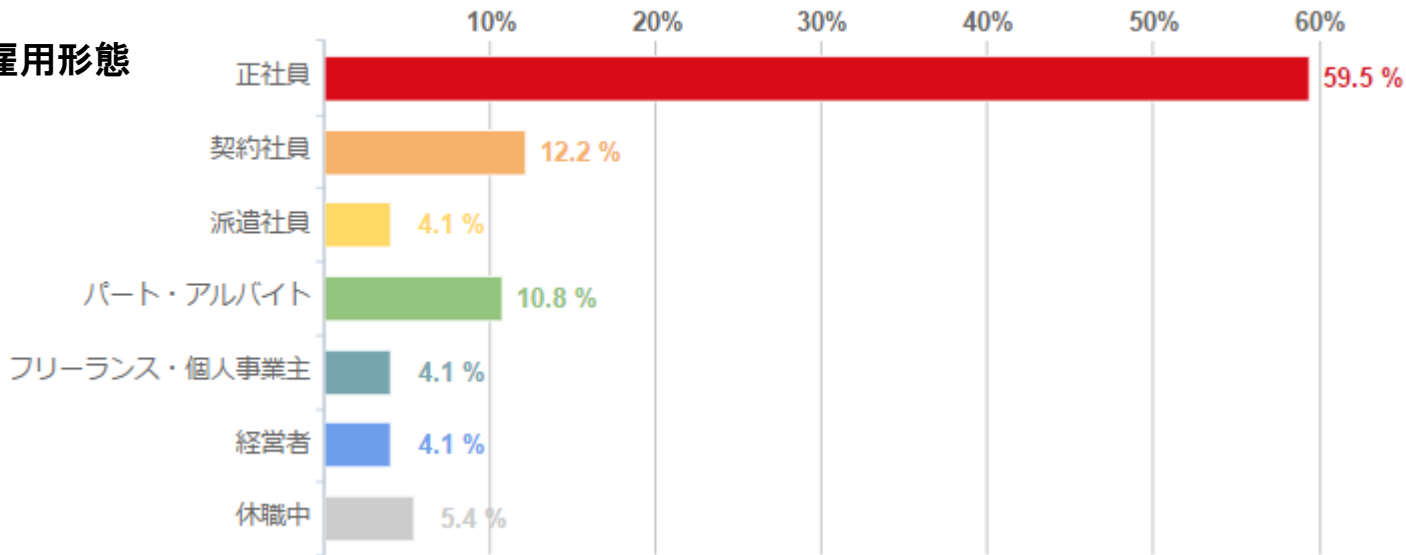


### ●子ども



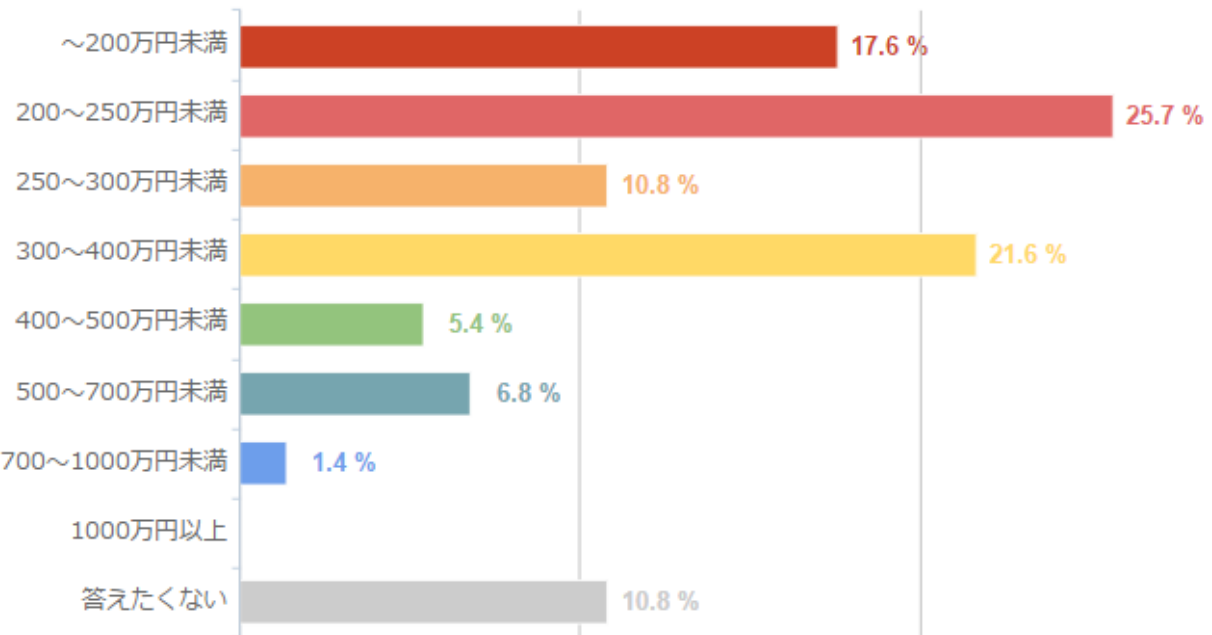
# 回答者のプロフィール2

## ●雇用形態



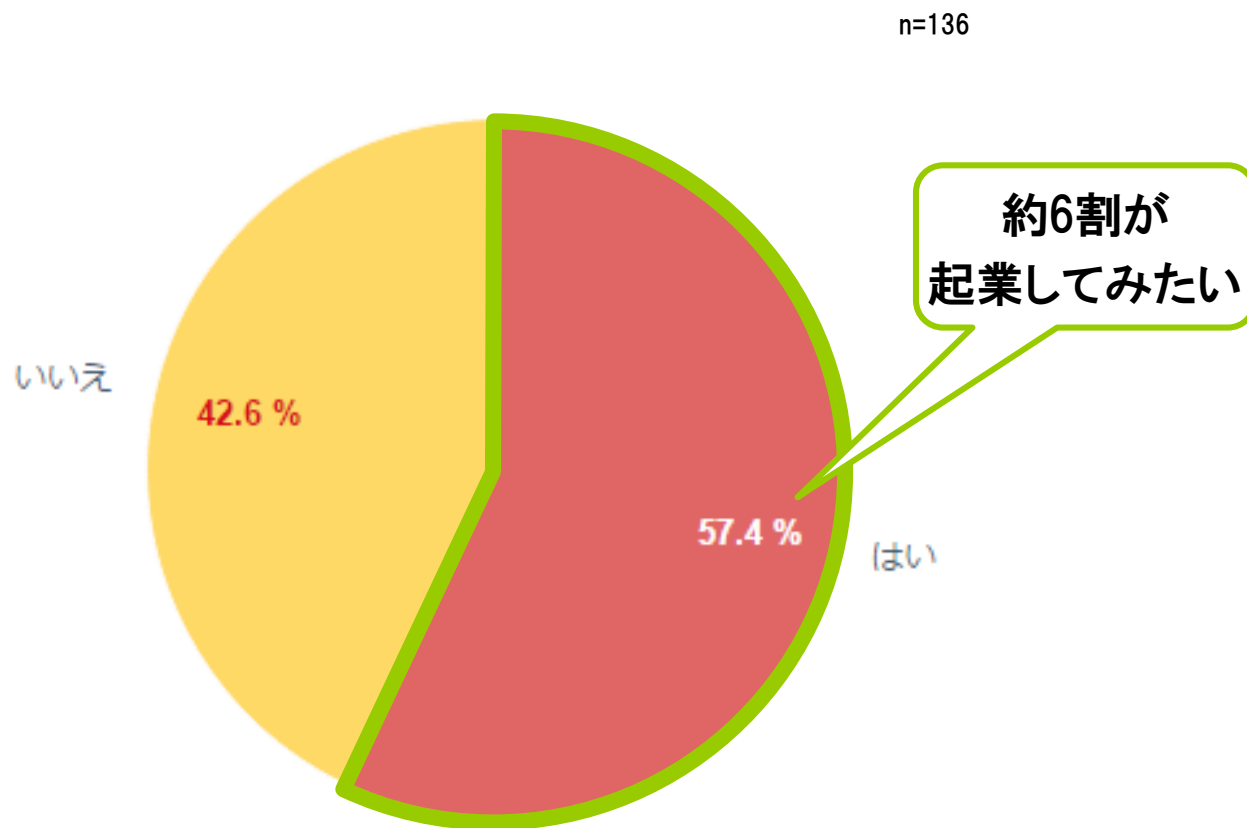
## ●年収（個人）

年収平均  
**344万円**



# 6割以上は、起業してみたい！

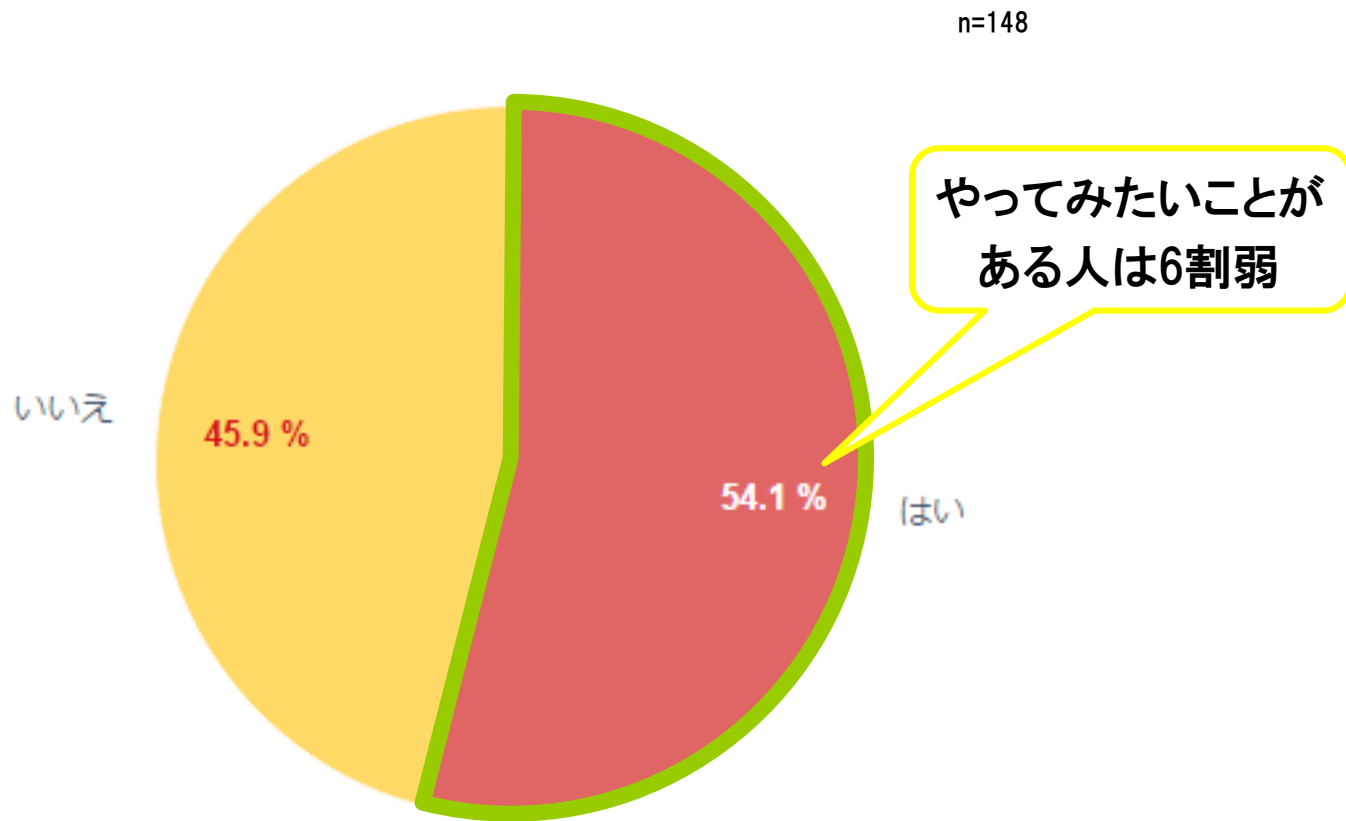
Q1. 起業してみたいな、と考えたことがありますか？  
(現在フリーランス・個人経営をしている人はのぞく)



起業意向のある女性は、約6割。起業への意欲や関心は比較的多くの女性たちが抱いている様子。

# 2人に1人は、やってみたいことがある！

Q2. 今、やってみたい、実現したい、人に広めたいと思うことやアイデアはありますか？

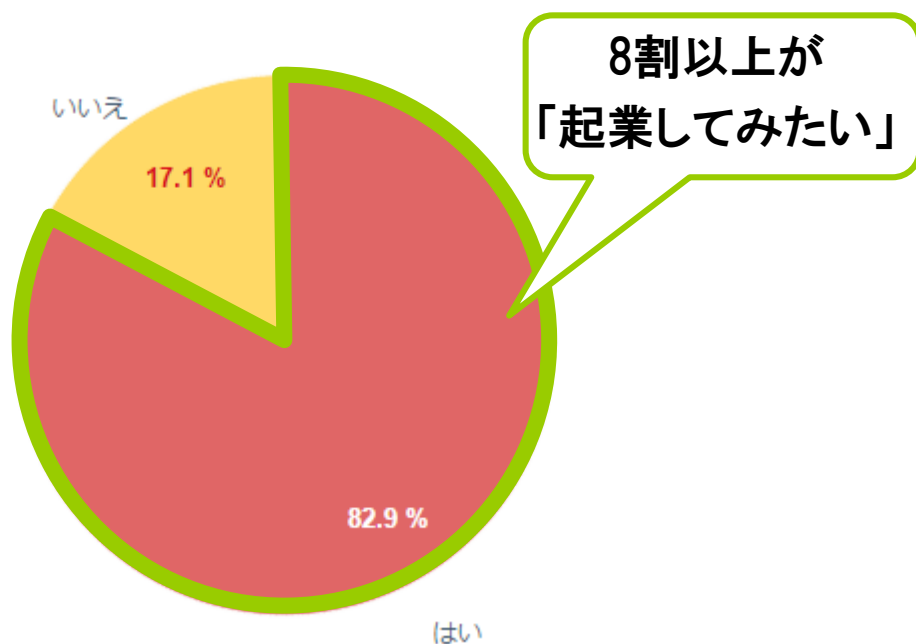


起業意向と併せて聞いたのが、「やってみたいこと、実現したいこと」があるかどうか。約6割が「はい」と回答。何かしてみたいと意欲をもつ女性たちも多いようだ。

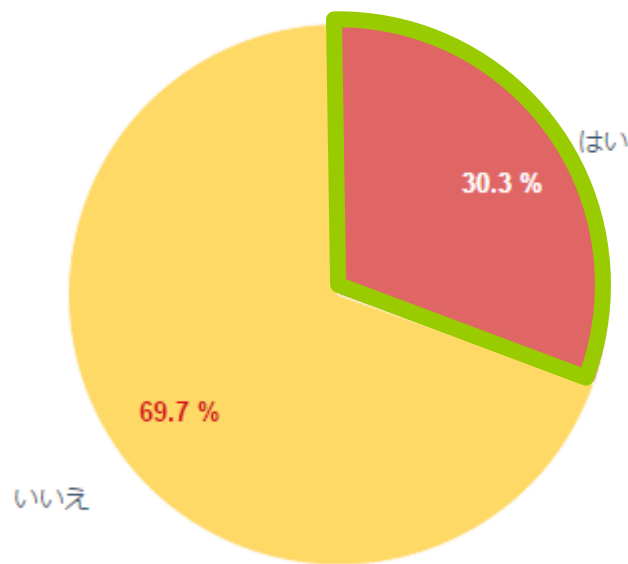
# 「やりたいことがある」 = 「起業してみたい」

Q1とQ2をクロス集計  
「起業してみたいな、と考えたことがありますか？」に対する答え

【やってみたいことがある人】 n=70



【やってみたいことがない人】 n=66

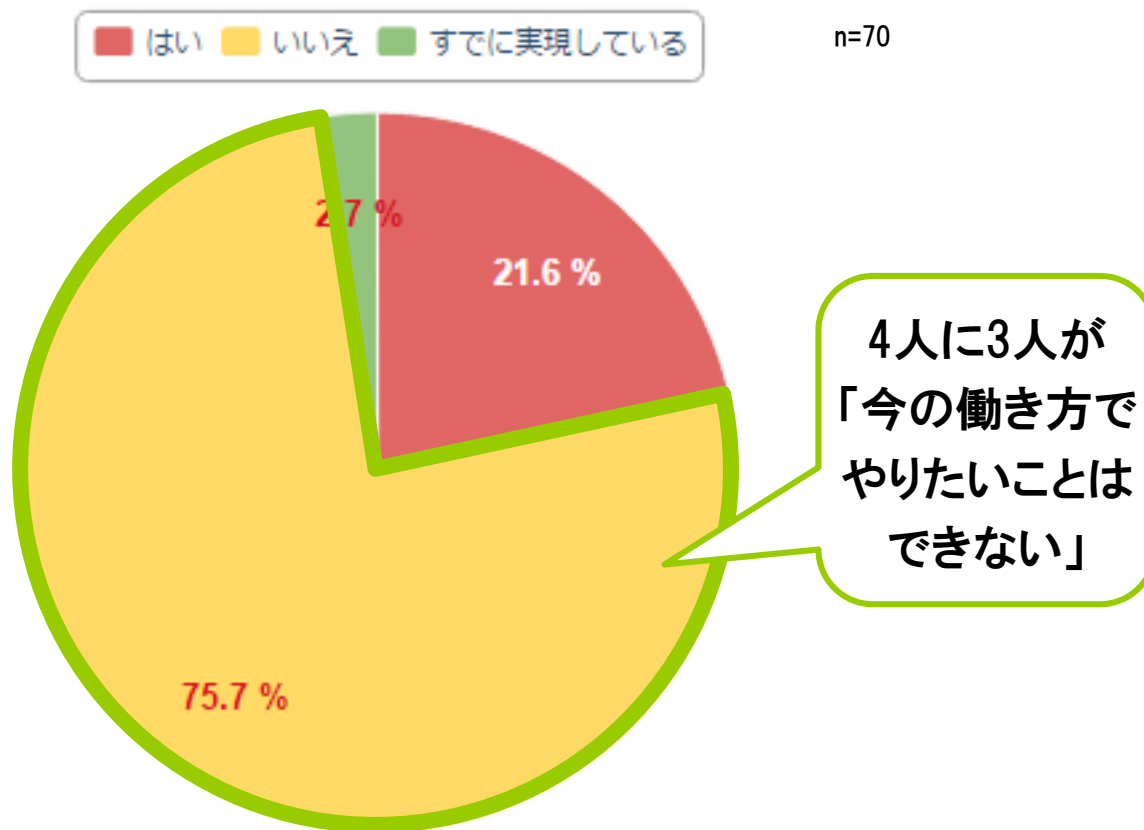


やってみたいことがある人ほど、起業してみたいと回答していることが判明。具体的に「何かしてみたい、実現してみたい」と考えることが、起業への興味をおこす大きなきっかけになっているようだ。

# 今の働き方ではやりたいことは“叶わない”

Q3. (やりたいことがある人へ)

そのやりたいことは、今の働き方（または職場）で実現できそうですか？

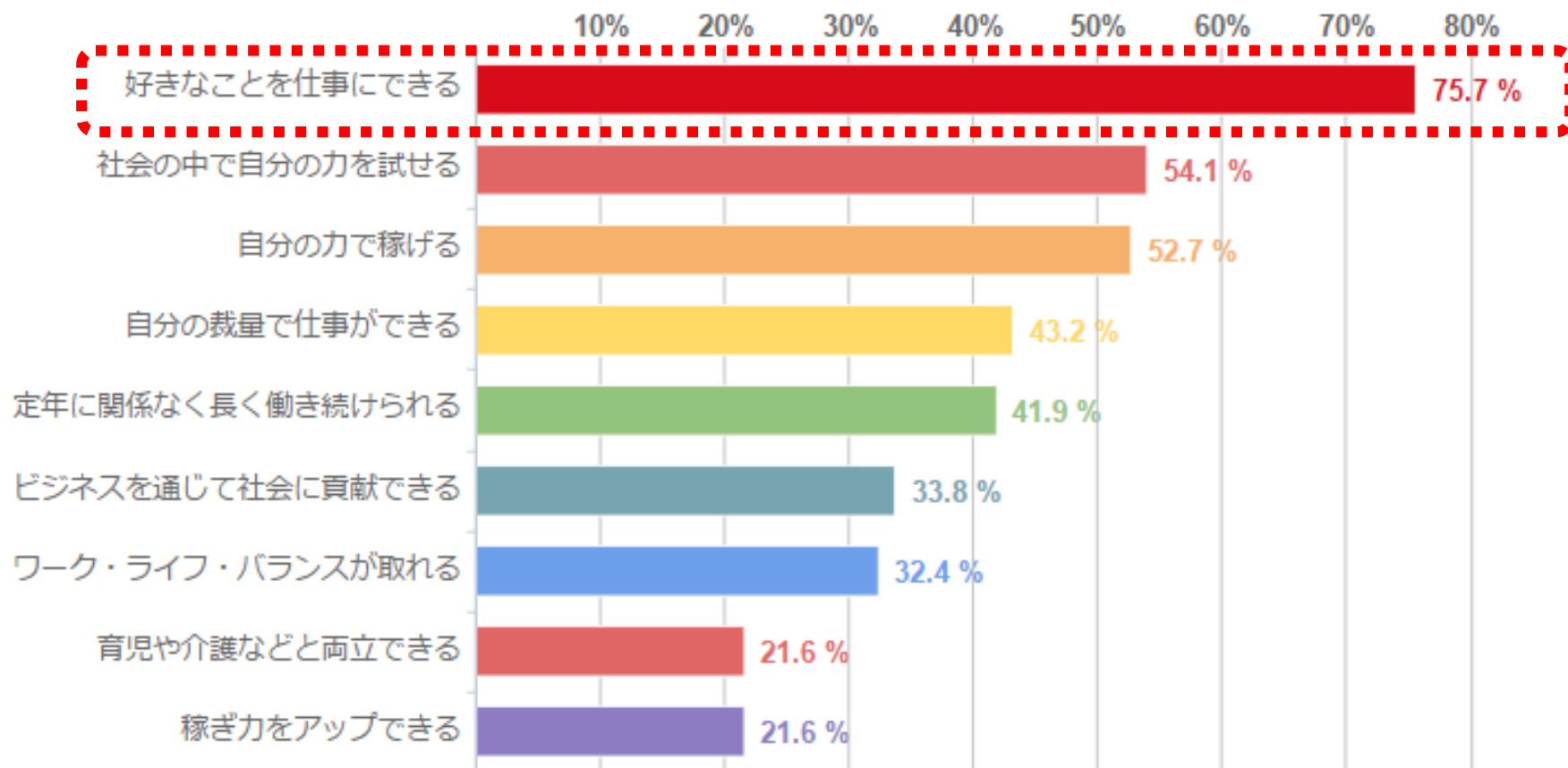


やりたいことがある人へ、それが今の働き方・職場で実現できそうか尋ねたところ、7割以上の女性たちが「実現できなさそう」と答えた。「起業への興味はある、やりたいこともある」。そう思っている女性の多くが、今の働き方では叶わない、と気づいているとうかがえる。

# 「好きなことを仕事にしたい！」が起業する理由に

Q4. 「起業」について、以下のどんな点に魅力を感じますか？

n=148



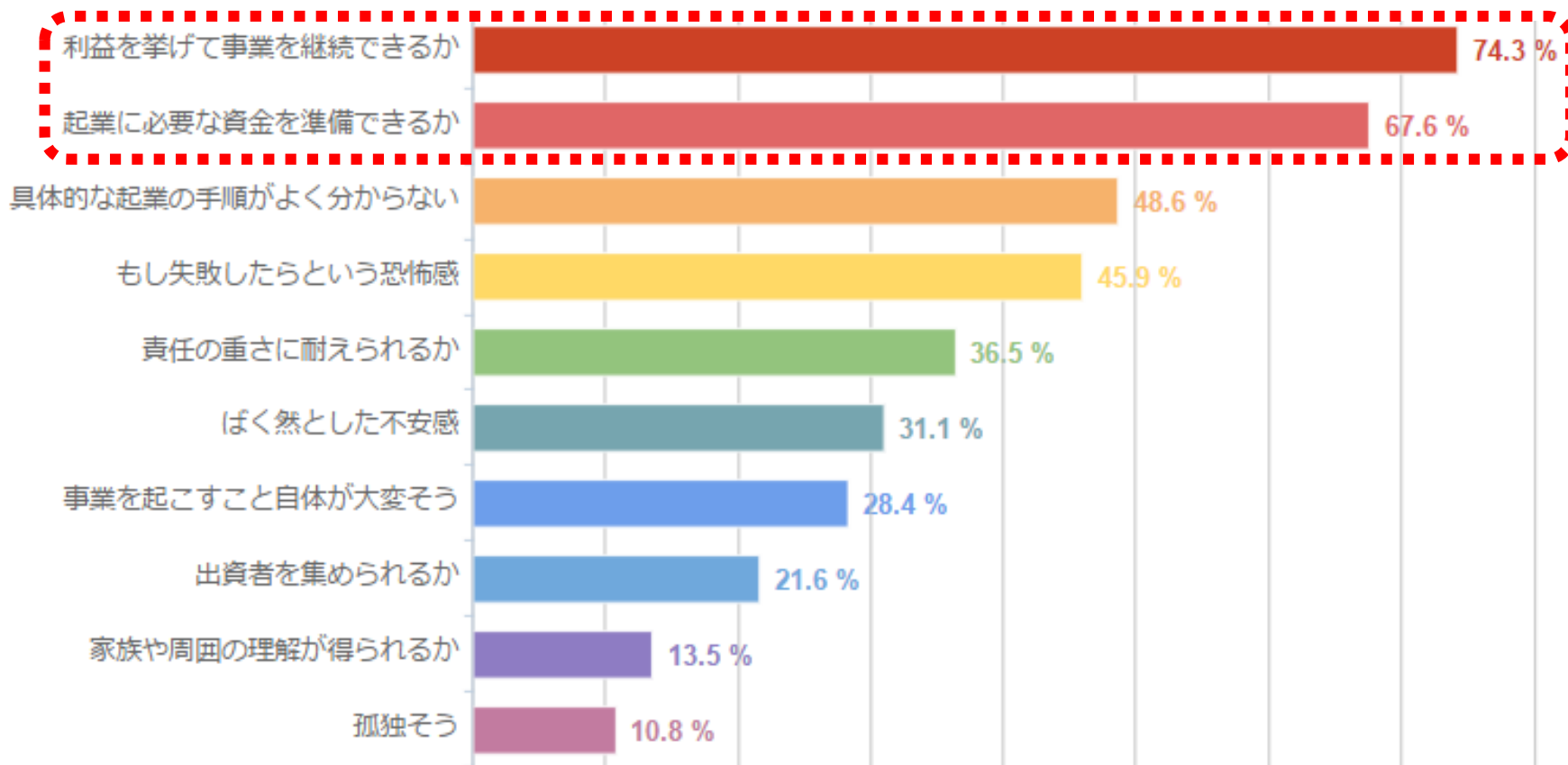
起業に対して、「好きなことを仕事にできる」に最も魅力を感じる女性が多かった。続いて「社会の中で自分の力を試せる」「自分の力で稼げる」が多かった。好きなことを活かしたい、チャレンジしてみたい、稼ぎたい、という女性たちの意欲が垣間見える。

# いちばんの懸念は、事業が続けられるか&開業資金

Q5. もしご自身が起業するとしたら、以下のどんな点に不安を感じるとお思いますか？

(すでに起業経験のある方は、起業時に感じた不安で以下の中に当てはまるものがあればお選びください)

n=148

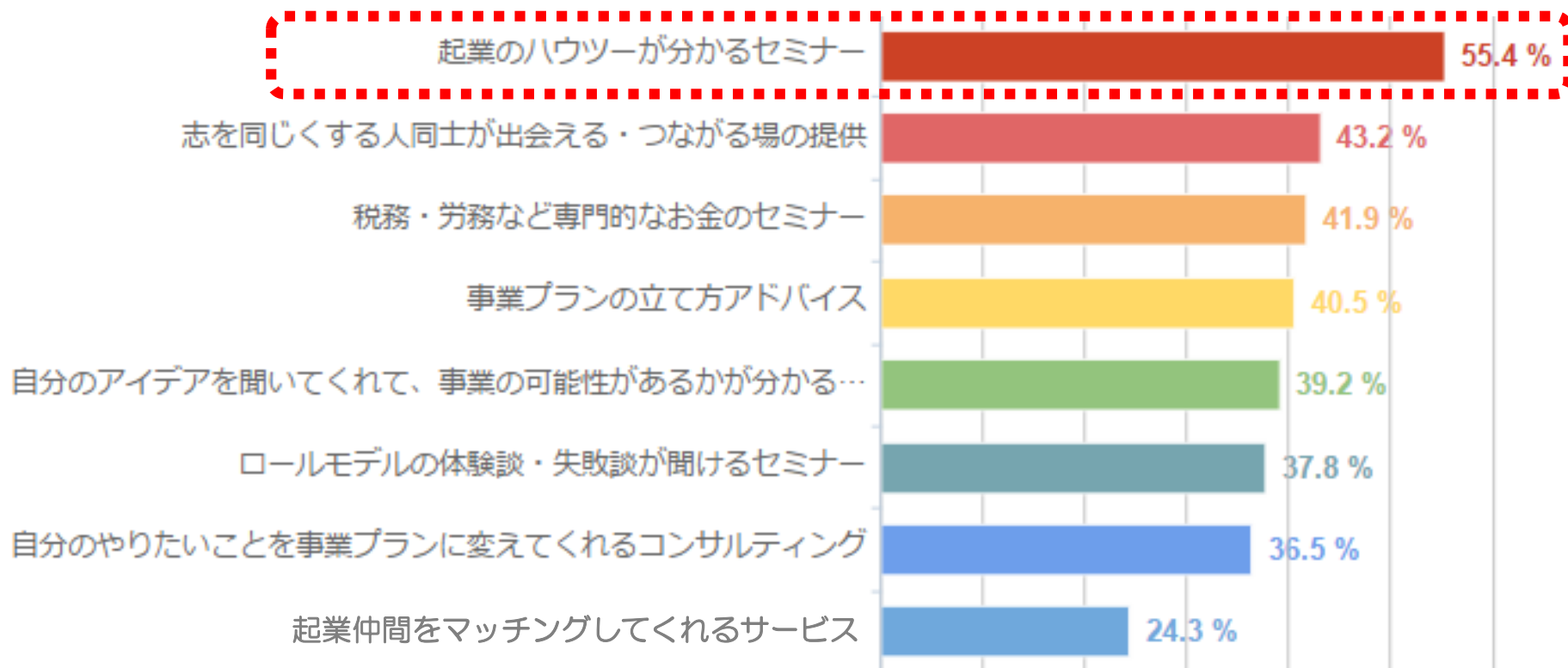


もし自分が起業するなら、何が不安かを尋ねたところ、「利益を挙げて事業を継続できるか」「起業に必要な資金を準備できるか」が2大トップにあがった。現実的な問題に真っ先に不安を感じている様子。

# 起業の具体的なハウツーがいちばん知りたい！

Q6. 「こんなサポートやサービスがあったら、自分のやりたいことを実現できそう、好きなことを仕事にできそう」と思える項目をお選びください。（複数選択）

n=148



トップは「起業のハウツーが分かるセミナー」。Q5の第3位に「具体的な起業の手順がよく分からない」が挙がっていたことともリンクしており、女性たちは具体的な方法を知りたがっているようだ。

# 起業のマイナスイメージ=大変・リスク・資金面

Q7. 「起業」という言葉を聞いて、どんなことをイメージしますか？（自由記述）

n=148

## 【1位 難しそう・大変】

一人で全部しないと いけないから大変そう。

難しそう。どんな準備  
があるのだろうか。

手続きが難しそうで、  
気楽にできない

勇気と覚悟の上に、  
夢を実現すること。

自分には無理。

理想と現実はかけ離れ  
ていて、実際大変だと思うし  
難しそう。

## 【2位 リスク・責任】

メリットもあるが  
リスクも高い。

冒険

責任の重さを感じます。

失敗するも自分、  
成功するも自分。

おおよそ失敗する。

自己責任

## 【3位 資金・収入の不安】

収入が不安定ではあるが、  
時間ややりたいことが自由なイメージ。

お金がかかる 経済的に不安定。

資金繰りが難しそう。

## 【その他】

- ・一人ではできない。
- ・一人じゃなく複数なら何か  
できないかな…と思います
- ・メンターがほしい

回答の過半数を占めたのが、  
起業への「マイナスイメージ」。  
大変そう、リスク、責任、お金  
への不安など、漠然とした不安  
を感じている様子。

# 起業のプラスイメージ=行動力・成す力・自由

Q7-2. 「起業」という言葉を聞いて、どんなことをイメージしますか？（自由記述）

n=148

## 【実現力・行動力】

人にはない**発想力と強い展望と行動力。**

夢の実現

**発信力がある。**人が求めているものを素早くつかみ、**実現する行動力がある。**

かっこいい

リーダーシップ

## 【何かを成す】

新しいことをする。大変で必ずしも上手くいくとは限らないけど、**二度と同じ経験はできない**

**企業を興して、需要を勝ち取る**

自分の力を試せる

クリエイティブ

アイデア豊富

パイオニア

## 【自由】

**働く場所も時間も、顧客も仕事内容も自分で選べる。**

独立・自由

自分で稼げる

自分の会社をもてる

回答の一部には起業への「プラスイメージ」の声も挙がっていた。

# 【総括】女性たちの起業に対する意識は…

## ◆起業には興味あり！ やってみたい夢もある！ 今のままでは無理だと気づいてもいる

女性たちの約6割が起業に興味があり、さらにやってみたいことがあると回答。やってみたいことがある人ほど、起業への興味も高かった。一方で、やってみたいことの実現が今の働き方のままでは難しいことも、女性たちの多くは気づいていた。

## ◆起業の魅力は「好きなことが仕事にできること！」

好きなことを仕事にしたいと考えている女性は多いことが判明。起業によってそれが叶うだろうことも分かっている。

## ◆起業して続けられるか&開業資金の不安…シビアに現実をみている女性たち

「もし、自分が起業するとしたら…？」という問いに対する不安の2大トップが「事業を継続できるか」と「必要な資金を準備できるか」。具体的に起業を想像したとき、現実的な問題にまず目が向き、それが不安要素となっている様子だ。

## ◆起業のために知りたいのは「具体的なハウツー」

起業の具体的な方法が分からない、という不安からか「起業のハウツーが知りたい」と考える人が多かった。特に組織や会社に属する経験しか積んでいない女性たちにとっては、まずは起業の詳しい方法を知ることが、起業を具体的に考える第一歩になるようだ。

## ◆「起業」に対して、漠然としたマイナスイメージを抱いてしまう女性たち

起業に対するイメージを尋ねたところ、多くの女性たちが「マイナスイメージ」を抱いていることが分かった。

①大変そう、難しそう…最も多かった意見。具体的に何が大変か、という声よりも「何だか分からないけどとにかく大変で難しそう」と思っている意見が多数あり、漠然とそういったマイナスイメージを抱えている様子。

②リスク・責任が大きい…2番目に多かった意見。リスクは負いたくない、失敗したくない、という意識が垣間見える。

③資金・収入への不安…資金繰りや収入が今と比べて不安定になることへの不安を感じる、という声も。

また、「一人ではできない」「メンターがほしい」といった声も出ていた。

# 【総括】アヴァンティ的考察

## ■調査結果からみえてきた、女性たちの現状・・・

### 起業意欲は高い！ただ、具体的に考えると怖いし、漠然とした不安もある・・・

働く女性たちの多くが起業を考えたことがある。また、やってみたいこと・実現したいこともあり、それが起業によって叶えられるかもしれない、と思っている様子。

ただ、そんな女性たちの多くが、いざ現実的に起業を想像したとき、事業を続けていけるのか、開業資金は・・・？といった不安がまずは浮かぶようだ。また、「起業」に対して、漠然とした不安やマイナスイメージを抱いており、それが起業へ踏み切れない大きな要因の一つとなっているよう。

だから、女性たちの背中を押すのはこんなサポート！

### ①まずは「起業するまで」の道のりが具体的に分かること！

起業の具体的な方法が知りたい、ハウツーを学びたいという声が多かった。会社勤めや組織で働くことしか経験のない働く女性たちは、起業するには具体的に何が必要でどんな流れなのかがハッキリしないことには、起業という選択は取らないだろう。起業という方法がいかに身近で「私にもできること」と思わせる必要がある。

### ②資金サポート、一人じゃない方法の提示、メンターとの出会い

開業資金の援助や助成制度があることをまずは女性たちに広く知らせることが資金面の不安解消のきっかけとなりそう。また、一人で責任やリスクを負うことへの不安が大きく、一人ではできない、と考える人もいるため女性起業家への支援やサポートが手厚いことをPRするのも重要だ。

また先輩起業家や起業家のメンターの存在と出会うことも、女性の背中を押すきっかけになるかもしれない。



本件に関するお問合せは、  
株式会社アヴァンティ まで

avanti

**【データご利用の際のお願い】**

データの引用、出版・印刷物への転載に関しては、出典元を「avanti働く女性研究所調べ」と明記していただければ、基本的にご利用いただけます。また、ご使用に際しては必ず下記の「avanti働く女性研究所」窓口までご一報ください。

**E-mail : [labo@e-avanti.com](mailto:labo@e-avanti.com)**

**TEL : 092-724-3226**